

【令和2年度大崎市地域自治組織活性事業交付金の採択事業一覧】

1 採択結果(第1回目)

【チャレンジ事業交付金】 令和2年7月11日第1回審査会・大崎市図書館多目的ホール

審査順	申請団体名	事業名	交付申請額
1	三本木まちづくり協議会	地域防災マップの作成	190,600円
合 計			190,600円

2 採択結果(第2回目)

【チャレンジ事業交付金】 令和2年9月26日第2回審査会・大崎市役所本庁舎北会議室1階

審査順	申請団体名	事業名	交付申請額
1	東大崎地区振興協議会	東大崎地区 話・輪・和 情報 カレンダー作成事業	408,000円
合 計			408,000円

3 採択事業の詳細

No. 1	団 体 名：三本木まちづくり協議会	代表者：本田 恭子
	事業名称：地域防災マップの作成	
	<p>近年、豪雨災害が各地で多発し、三本木においても2015年や2019年の台風19号による内水氾濫により被害が発生しています。</p> <p>三本木川北地区は高低差が大きく、また新興住宅街も多い地区であり、安全に避難するため、どのルートを通り避難所に行けばよいかを示すマップを作成し、町内各所に明示します。まずは、モデルケースとして地域を選定し実施検証を行い、その後三本木内の各地域へと展開していきたいと考えております。</p>	

No. 2	団 体 名：東大崎地区振興協議会	代表者：千田 清憲
	事業名称：東大崎地区 話・輪・和 情報カレンダー作成事業	
	<p>東大崎地区では駐在所・農協などがなくなり、人口減少も進み住民同士のつながりも希薄になってきています。</p> <p>この課題を解決するために①地区や学校の行事など、地区内の様々な情報を共有するためのカレンダー②ハザードマップを利用した地図に、地名や地区の史跡名所、寺社などを記載した地図を組み合わせた「情報カレンダー」を作成し配布します。その結果、住民が情報を共有し地区を知ることで、地区への関心と愛着が生まれ、住民同士のつながりが深まることを期待します。</p>	